

最近よく聞く環境の言葉 など！

<いくつか知っていますか？ いくつか説明できますか？ 他に知っている言葉は？>

- ESG BCP CSR エシカル フェアトレード ジェンダー平等
- ガバナンス 脱炭素 スコープ1・2・3 SDGs 生物多様性
- GHG（温室効果ガス）の種類 フードマイレージ バーチャルウォーター
- ウッドマイレージ エコファーマー エネルギーミックス グリーン・ウォッシュ
- ステークホルダー 3R 5S スローフード 地産地消

まだまだ環境に関連する用語はたくさんありますが、聞いたことあるけど何となく知っているだけで他の人には説明できない・・・なんてことはありませんか。

最近の言葉ではないですが、よくある話で「5S活動に取り組んでいます」という企業にお伺いした時に「5Sとは何となにを、それぞれ何をやるんですか？」とお聞きすると「整理は捨てること、整頓は整えること、あとはえっと。。。。」という場面が多いです。

整理=必要なものと不要なものを分ける → ここから捨てるに繋がります

整頓=何を整える？ 職場にある必要なものが定位置に置かれすぐ使える状態にあること

清掃=工場周辺の清掃活動は5Sの清掃にはなりません。整理整頓された所の清掃です

清潔=作業服などを清潔に、ではありません。職場の整理・整頓・清掃が正しく行われ、常にきれいな状態が保たれていることをいいます

躰=挨拶ができる、ではありません。習慣付けです。職場を常にきれいに使うよう、働く人に習慣づけるための教育や指導、仕組み作りです

当然知っています！という方も多いでしょうが、問題は社員全員に浸透しているかどうかですよね。KESの環境活動もそうですが、何となく活動に参加しているのではなく、何の役に立っているのか（売上増、職場環境の向上、顧客からの信用度の工場、品質向上、スキルアップ、良好なコミュニケーションで認め合える職場作り ……）を理解して活動に取り組めると、我慢ではないゆとりのある環境活動に繋がるのではないのでしょうか。

最後に脱炭素で最近話題の多い「サプライチェーン排出量算定」について

脱炭素に向けて企業が自社の排出だけでなく、事業活動に関する温室効果ガスの排出量を算定し、ターゲットを決めて削減していくという取組みが始まっています。SDGsにも含まれる活動とも言えますが、原材料調達・製造・物流・販売・廃棄など一連の流れ全体の温室効果ガス排出量を算定します。

* サプライチェーン排出量 = Scope1排出量 + Scope2排出量 + Scope3排出量



・ Scope3には15のカテゴリー分けがあります

(環境省HP参照)